

	年度	論文名	名前	学位の種類	報告番号
1	1966	芳香族第三級アミン誘導体とギ酸の脂肪族第三級アミン塩との反応	富江 正泰	博	薬1
2	1967	4-(Methylsulfonyl) cinnolinweに関する研究	渡部 誉子	博	薬2
3	1967	キノキサリン N-オキサイドに関する研究	飯島 千穂子	論博	薬1
4	1967	微生物の菌体成分および代謝産物に関する研究	成田 弘子	論博	薬2
5	1968	漢方薬製剤の検定法に関する研究	水野 英臣	論博	薬3
6	1968	4-(p-Aminobenzenesulfonyl) thiosemicarbazoneによるらい化学療法に関する研究	佐竹 義継	論博	薬4
7	1968	紫外部吸収スペクトルおよび赤外部吸収スペクトルの食品添加物定性定量への応用に関する研究	河村 太郎	論博	薬5
8	1969	α -アミドおよび α -ジアルキルアミノケトンのC-アルキル化反応	河原畑 二郎	博	薬3
9	1969	還元糖のアミノカルボニル反応の研究	木苗 直秀	博	薬4
10	1969	豚回虫に対する4-Iodothymolの作用機作	谷澤 久之	博	薬5
11	1969	エーテルリン脂質の動物組織における代謝の研究	三輪 匡男	博	薬6
12	1969	アゾメチンのギ酸還元反応の機構に関する研究	森 小五郎	博	薬7
13	1969	Phthalazine誘導体に関する研究—Carbanionによる求核反応について	大石 悦男	論博	薬6
14	1969	ナライシダの成分に関する研究	野呂 忠敬	論博	薬7
15	1970	4-Nitroquinoline-1-oxideにおけるフリーラジカル反応に関する研究	鈴木 善則	博	薬8
16	1970	芳香族アミン誘導体とギ酸の脂肪族第三アミン塩との反応	高山 修一	博	薬9
17	1970	豚回虫の生存に及ぼす酸素圧の影響	寺田 護	博	薬10
18	1970	HVJと、その宿主細胞に於けるリン酸代謝の研究	平野 光一	博	薬11
19	1971	Bacillus stearothermophilus NYUの生育環境と脂質代謝	市川 勇	博	薬12
20	1971	局方モクタル中の抗糸状菌成分	内野 東雄	博	薬13
21	1971	緑膿菌の薬剤耐性機構に関する研究	小林 富二男	論博	薬8
22	1971	ヒトアデノウイルス感染細胞におけるDNA合成に関する研究	山下 正	論博	薬9
23	1971	16-Oxoseratene系トリテルペノイドの構造研究	藤本 琢憲	論博	薬10
24	1971	4-Hydroxyaminoquinoline 1-oxideにおけるフリーラジカル反応に関する研究	沢西 啓之	論博	薬11
25	1971	Clostridium butyricumに於ける脂質の生化学的研究	小泉 恵子	論博	薬12
26	1971	種々の活性炭素位におけるギ酸のトリエチルアミン塩の還元反応	鈴木 邦夫	論博	薬13
27	1972	ツキシハギの成分に関する研究	市川 雅博	博	薬14
28	1972	Surugatoxinに関する研究	落合 明男	博	薬15
29	1972	窒素または酸素に結合するジアルキルアミノメチル化合物を用いる種々のC-ジアルキルアミノメチル化	松田 治	博	薬16
30	1972	腸炎ビブリオVibrio parahaemolyticusのリン脂質の生化学的研究	美崎 英生	博	薬17
31	1972	フタルイミド誘導体およびスクシンイミド誘導体とグリニヤール試薬との反応、およびその関連化合物の反応について	寺尾 良保	論博	薬14
32	1972	ヒトインスリンA鎖およびB鎖に関する合成研究	坂上 政則	博	薬18
33	1973	ラットの四塩化炭素肝障害における酵素活性の変化に関する研究—特に肝疾患治療薬のMarker Enzymeについての研究	佐藤 義弘	論博	薬15
34	1973	フェニルアゾマロン酸誘導体を原料とするプリン誘導体の—工程合成反応	鈴木 次郎	論博	薬16
35	1973	接触還元条件下における炭素-窒素二重結合化合物とギ酸アミドとの反応およびその反応過程	原 明	論博	薬17
36	1973	Lactobacillus caseiのファージレセプターに関する研究	横倉 輝男	論博	薬18

37	1973	抗真菌剤11-Iodo-10-undecynoic acidおよびその関連化合物に関する研究	上野 明	論博	薬20
38	1973	長鎖アルキルアミン化合物の抗寄生虫性について	国友 勝	論博	薬21
39	1973	組織培養細胞における脂質の生化学的研究—麻疹ウイルス感染および非感染宿主細胞における脂質代謝の比較	鈴木 康夫	論博	薬22
40	1973	アスコルビン酸のアミノ・カルボニル反応	中村 好志	論博	薬23
41	1973	多様性酵素に関する研究(乳酸脱水素酵素およびカリクレインについて)	藤本 幸男	論博	薬24
42	1973	Clofibrate関連物質の合成と抗脂血作用に関する研究	三好 文彦	論博	薬25
43	1973	ピリミジン部2位置換thiamine誘導体の補酵素作用の研究	斉藤 慎一	論博	薬26
44	1973	子宮収縮作用を有するQuinolizidine誘導体の合成	杉本 和朗	論博	薬27
45	1974	シアンイオン存在下含窒素芳香族複素還化合物と芳香族アルデヒドとの反応に関する研究	五井 正美	博	薬19
46	1974	ビタミンB6誘導体の示す微生物活性と細胞膜透過反応に関する研究	佐野 満昭	博	薬20
47	1974	Aminoquinone化合物の核酸との相互作用ならびに抗生物作用	望月 信夫	博	薬21
48	1974	高分子RNAのEhrlich腹水癌細胞へのとりこみとその細胞生化学的効果	矢野 純夫	博	薬22
49	1974	エーリッヒマウス腹水ガン細胞によるチミンおよびリボチミジンの代謝に関する研究	綿鍋 維男	博	薬23
50	1974	N-置換 N-チオホルミルヒドロキシルアミンの合成、生物活性ならびに構造活性相関に関する研究	宮城島 利一	論博	薬28
51	1974	錯体生成を利用した原子吸光分析による医薬品定量法に関する研究	南川 伝憲	論博	薬29
52	1974	リノール酸メチルエステルの酸化および酸化防止剤に関する研究	松本 茂	論博	薬30
53	1975	Pyrazolo[3,4-d]pyrimidine誘導体に関する研究	岩井 義久	博	薬24
54	1975	薄片状充テン剤を含む熱可塑性高分子膜の透気性	小股 和裕	博	薬25
55	1975	Ethchlorvynolの生体内動態に及ぼす植物油の影響	仁田 義孝	博	薬26
56	1975	Myo-inositolの生理学的研究 Myo-inositol欠乏ラットにおける脂質代謝異常	前田 利男	博	薬27
57	1975	ヒト成長ホルモンN端部に関連するポリペプチドの合成研究	宮関 都啓	博	薬28
58	1975	計算機実験によるプロスタグランジンの生理活性に関する研究	村上 篤司	博	薬29
59	1975	Surugatoxinの神経薬理学的研究	山田 静雄	博	薬30
60	1975	L-Ascorbate 2-Sulfateの生理学的および薬理学的研究	山田 潤	博	薬31
61	1975	チオールカルバミン酸ベンジルエステル誘導体の除草活性と応用研究	佐藤 弘成	論博	薬31
62	1975	ラット腹水肝癌細胞の糖脂質の研究—細胞接着性と糖脂質の生化学	滝 孝雄	論博	薬32
63	1975	グルタミン酸の5-アルキルアミドの中樞神経におよぼす影響	木村 良平	論博	薬33
64	1975	鶏卵黒焼に関する研究	辻 邦郎	論博	薬34
65	1976	Uchinolの分子構造について	石田 均司	博	薬32
66	1976	4-Hydroxyaminoquinoline 1-oxide および関連化合物の化学反応性に関する研究	神谷 庸	博	薬33
67	1976	含窒素芳香族複素還N-オキシドに対するスルホン酸クロリド-シアン化カリウムの反応に関する研究	島田 典招	博	薬34
68	1976	4-Nitroquinoline 1-oxideによる酵母ミトコンドリアDNAの異常	福長 将仁	博	薬35
69	1976	Tryptophan熱分解生成体中の突然変異原性物質に関する研究	若林 敬二	博	薬36
70	1976	Pyridazine 1,2-Dioxide類の研究	末吉 祥子	論博	薬35
71	1976	ラット肝細胞の増殖に伴う細胞膜の変化—その脂質構成と代謝における変化を中心として	小泉 昕也	論博	薬36
72	1976	鉛中毒ラットのカルシウム代謝異常	山口 正義	論博	薬37
73	1976	ブタおよびウシプロインスリン連結ペプチドの合成と免疫化学的性質	佐倉 直樹	論博	薬38
74	1976	Bufoalinの神経筋接合部における興奮伝達遮断作用機作についての研究	吉田 誠一郎	論博	薬39

75	1976	ヒトプロインスリンC-ペプチドのラジオイムノアッセイに関する研究	中沢 信彦	論博	薬40
76	1976	魚類感染症に対する化学療法剤の研究—新化学療法剤nifurpirinolに関する研究	高瀬 善行	論博	薬41
77	1976	セレン中毒ラットの貧血に関する知見	長谷川 明	論博	薬42
78	1977	スピンプローブ法による電解質水溶液の水結状態の物性と構造研究	佐藤 英二	博	薬37
79	1977	縮合Pyrimidine環から縮合Pyridine環への環転換に関する研究	鈴木 清	博	薬38
80	1977	不飽和官能基と共役した炭素—炭素二重結合に対する種々の求核反応の開発	南條 勝美	博	薬39
81	1977	含窒素芳香族複素還N-オキシドに対する芳香族カルボン酸クロリド—シアン化カリウムの反応(Reissert-Henze反応の拡張)に関する研究	宮下 晶	博	薬40
82	1977	消化管ホルモンGIPの合成化学的研究	望月 徹	博	薬41
83	1977	フタル酸エステルの毒性に関する研究	八木 康興	博	薬42
84	1977	L-Ascorbic acid 2-sulfateの生理学的ならびに薬理学的研究	渡辺 芳則	博	薬43
85	1977	N-ニトロソジメチルアミンの生体内生成に関する研究	石綿 肇	論博	薬43
86	1977	D-グルコースおよびその誘導体によるラット膵B細胞のインスリン分泌動態	小林 邦夫	論博	薬44
87	1977	免疫活性ソマトスタチンに関する研究	佐藤 晴子	論博	薬45
88	1977	N、N'—ジ置換amidineの抗炎症作用に関する研究	浜川 博司	論博	薬46
89	1977	O-Chloro- α -[(<i>tert</i> -butylamino)methyl] benzylalcohol hydrochloride(CTBB)の経口投与と非経口投与における気管支拡張作用の効力差発現に関する研究	上坂 征夫	論博	薬47
90	1977	薬理活性を有するAPOGALANTHAMINE類似体および関連化合物の合成研究	木原 勝	論博	薬48
91	1977	4'-Chloro-5-methoxy-3-biphenyl-ylacetic and (CMBP)の抗炎症作用に関する研究	柴田 芳久	論博	薬49
92	1977	myo-Inositol 欠乏酵母における中性脂質蓄積機構についての研究	長谷川 隆一	論博	薬50
93	1977	ニューカッスル病ウイルスの生化学的研究	前田 明利	論博	薬51
94	1977	クララ(<i>Sophora flavescens</i> AITON)のアルカロイド成分に関する研究	森永 邦夫	論博	薬52
95	1977	シッフ塩基およびエナミンとトリクロアセチル化剤との反応	森本 俊明	論博	薬53
96	1978	(有機スルフィン酸、スルフィニルクロリド及びスルフェニルクロリドの新合成法)	内野 憲	博	薬44
97	1978	焙焼食品中におけるTetramethylpyrazine生成に関連したアミノカルボニル反応	杉山 清	博	薬45
98	1978	活性型ビタミンD3に関する合成研究	竹下 徹	論博	薬54
99	1978	薬物による腸管平滑筋の収縮並びに抑制機序、特にCa ⁺⁺ 動員との関連について	鄭 瑞棠	論博	薬55
100	1978	細辛の生理活性成分に関する研究	長沢 道男	論博	薬56
101	1978	カルセイン及びカルセイブルーの性質と蛍光金属指示薬としての応用に関する研究	宮原 武恒	論博	薬57
102	1978	1-Pyrenyl-1H-pyrazolo[3,4-d]-pyrimidine誘導体に関する研究	鈴木 紳一	論博	薬58
103	1978	大豆粕乾留タールの有効性と安全性に関する研究	山本 武司	論博	薬59
104	1978	ヒ素酸化物の存在下におけるアミンと二硫化炭素の反応	奥田 逸輝	論博	薬60
105	1978	縮合pyrimidine環化合物のマススペクトルに関する研究	内田 三夫	論博	薬61
106	1978	生薬決明子の品質評価に関する研究	腰岡 政二	論博	薬62
107	1978	キク科Stevia rebaudianaの甘味ジテルペン配糖体に関する研究	坂本 征則	論博	薬63
108	1978	酵母細胞壁の抗腫瘍作用の免疫学的研究	清水 忠順	論博	薬64
109	1978	ラット腹水肝癌細胞の糖脂質構造とその生合成—特に酸性糖脂質を中心として—	平林 義雄	論博	薬65
110	1979	動脈硬化危険因子特に高血圧と動脈壁脂質水解酵素活性との関係	白崎 康文	博	薬46

111	1979	Ehrlich腹水がん細胞ヌクレオソーム中のDNAの二次構造とその転写活性とにおよぼす非ヒストンたんぱく質の作用	鈴木 隆	博	薬47
112	1979	モルモットおよび家兎C-ペプチドの全合成ならびにそれらの免疫化学的性質	西田 敏信	博	薬48
113	1979	中枢神経系の実験モデル系としての牛副腎におけるCatecholamine遊離刺激分泌関連に対する薬理学的研究	山中 教造	博	薬49
114	1979	稲もんがれ病菌に対するポリオキシンの抗菌作用とその作用機作に関する研究	佐々木 茂樹	論博	薬66
115	1979	両棲類皮ふ中に含有される生理活性ペプチドの検索と構造解析	安原 義	論博	薬67
116	1979	乳酸桿菌の酸素消費と好気耐性の研究	岩本 義久	論博	薬68
117	1979	芳香族エーテルおよびスルフィド構造を有する薬理活性物質の合成研究	田中 悟	論博	薬69
118	1979	$\alpha, \alpha, \alpha, \omega$ -テトラクロロアルカン誘導体のイネいもち病に対する基礎的並びに応用的研究	千代丸 功	論博	薬70
119	1979	NMR完全波型解析法によるBenzofuroxan誘導体の分子内転位反応の研究	植松 正吾	論博	薬71
120	1979	アミノ酸系スクランニング剤開発に関する生化学的基礎研究—とくにD-アミノ酸について—	五島 廉輔	論博	薬72
121	1979	モルモット回腸の神経機能とPurine誘導体との関係	森 元邦	論博	薬73
122	1980	1位にトリクロロメチル基をもつアミン類と各種求核試薬との反応	高松 正典	博	薬50
123	1980	含窒素6員環プソイド塩基型化合物とカルベンとの反応に関する研究	杉浦 道治	論博	薬74
124	1980	3H-1,2,3-triazolo[4,5-d]pyrimidine誘導体に関する研究	香取 達彦	論博	薬75
125	1980	放線菌代謝産物leupeptinの生合成	鈴木 加譽子	論博	薬76
126	1980	赤血球細胞におけるプリン化合物の代謝とその生化学的意義	宮崎 亀	論博	薬77
127	1980	可溶化機構のゲル 過法による研究—パラベンの可溶化機構の研究	五島 綾子	論博	薬78
128	1980	PCBのコイCyprinus carpioにおよぼす影響の生化学的研究	伊東 保之	論博	薬79
129	1980	Lycorineとその関連化合物に関する合成研究	沢木 正平	論博	薬80
130	1980	Butyrophenone系薬物に関する生物薬剤学的研究	相本 太刀夫	論博	薬81
131	1980	ハロアルキルピペリジン誘導体の抗癌性に関する研究	宮本 謙一	論博	薬82
132	1980	膵B細胞機能における基礎的検討—特に、グルコースによるインスリン分泌機構に関して	津村 洋子	論博	薬83
133	1980	セクレチン関連物質の合成および生物化学的研究	窪田 真理	論博	薬84
134	1981	カリクレインの免疫化学的研究	大軽 靖彦	博	薬51
135	1981	製剤における流動化法の研究	宮城島 惇夫	論博	薬85
136	1981	銅クロロフィリンナトリウムの抗脂質過酸化作用に関する研究	佐藤 正基	論博	薬86
137	1981	リゼルギン酸ジエチルアミドの肝ミクロゾームによる代謝の研究	井上 堯子	論博	薬87
138	1981	1-Thioniabicyclo [4.4.0] decane塩の立体構造並びに結晶熱異性化反応	三由 文久	論博	薬88
139	1981	オルニチン熱分解物よりの突然変異原物質の単離およびその化学構造に関する研究	成田 九州男	論博	薬89
140	1981	小腸におけるアミノ酸、ブドウ糖輸送に及ぼすカリクレイン-キニン系の影響について	藤森 廣幸	論博	薬90
141	1981	スルピリンの亜硝酸との反応生成物およびその変異原性に関する研究	酒井 綾子	論博	薬91
142	1981	骨盤神経刺激による膀胱攣縮に対する抗コリン作動薬の作用に関する研究	久保 信治	論博	薬92
143	1982	ヒト神経芽腫培養細胞における免疫活性 Vasoactive intestinal polypeptideに関する研究	日置 善雄	博	薬52
144	1982	P物質関連化合物の合成および生物化学的研究	廣橋 満	論博	薬93
145	1982	新しいアントラサイクリン類の化学構造とその制癌性に関する研究	松沢 保江	論博	薬94
146	1982	石炭タール(Coal Tar)中の突然変異原性物質に関する研究	寺田 章男	論博	薬95
147	1982	抗炎症剤塩酸チアラミドの代謝に関する研究	野口 英世	論博	薬96

148	1982	Biphenyl酢酸誘導体の薬動学的研究	杉山 信	論博	薬97
149	1982	4-ニトロキノリン 1-オキンド関連化合物の遺伝子傷害性とその分子機構に関する研究	高橋 和彦	論博	薬98
150	1982	Barbituratesならびに数種抗てんかん薬とAcetazolamideの併用効果に関する研究	佐藤 重一	論博	薬99
151	1982	Ginsenoside Rg1およびRb1のラット消化管吸収に関する研究	小谷 功	論博	薬100
152	1982	5-フルオロウラシルの制癌作用増強に関する研究	手塚 雅勝	論博	薬101
153	1982	チアミン・ピリミジン部の生合成経路に関する研究	山田 和子	論博	薬102
154	1982	4-(フェニルアゾ)フェノール系化合物の農業害虫に対する殺虫作用に関する研究	井上 忠彦	論博	薬103
155	1982	Piperidineの体内動態に関する研究	片岡 美紀子	論博	薬104
156	1982	リン脂質の酵素的定量分析に関する研究	今村 茂行	論博	薬105
157	1983	パラミクソウイルスレセプターの研究—レセプターシアロ糖タンパク質の分離と機能糖鎖構造	鈴木 隆	博	薬53
158	1983	レプトスピラ溶血因子に関する研究	小島 毅	博	薬54
159	1983	プレプロエンケファリンBに含まれる新しいオピオイドペプチドleumorphinの化学合成と生物化学的性質	山本 栄仁	博	薬55
160	1983	炭素上の諸種のアミノメチル化反応の開発と単環性 β -ラクタム合成へのアプローチ	池田 潔	博	薬56
161	1983	α および β 位の塩素原子が関与する有機硫黄化合物の反応の開発	長島 延拓	博	薬57
162	1983	ボンベシンに関する生物化学的研究	井上 敦郎	論博	薬106
163	1983	クロレラ(<i>Chlorella ellipsoidea</i>)中に生成するカドミウム結合蛋白質に関する研究	永野 隆夫	論博	薬107
164	1983	カルボニル基に共役する炭素-炭素二重結合、および窒素-炭素-窒素結合を有する化合物のギ酸還元機構、ならびに脱炭酸反応を利用した β -アミノカルボン酸誘導体の新合成法	府川 秀道	論博	薬108
165	1983	活性型ビタミンD ₃ の標識体の合成と代謝に関する研究	東平 靖雄	論博	薬109
166	1983	テレピン油から誘導したP-メンタニルフェノールのエチレンオキサイド付加化合物の殺精子作用に関する研究	古瀬 一麿	論博	薬110
167	1983	ピリドンカルボン酸耐性遺伝子に関する研究	井上 了	論博	薬111
168	1983	ヒツジ副腎皮質刺激ホルモン放出因子前駆体cDNAの単離と構造解析	古谷 泰治	論博	薬112
169	1983	新生ラット培養隣細胞の機能維持におけるグルコース誘導体の効果	吉田 恵子	論博	薬113
170	1984	食品成分特にスペルミジンの亜硝酸処理による変異原性の発現とその修飾に関する研究	竹中 裕之	博	薬58
171	1984	脳卒中易発性高血圧自然発症ラットの血小板機能の変化についての研究	梅垣 敬三	博	薬59
172	1984	モルモットの回腸コリン作動性神経に対するAscorbic acidの神経薬理学的研究	武田 充弘	博	薬60
173	1984	漢方方剤コンサルテーションシステムの開発	谷 重喜	博	薬61
174	1984	グリセチンおよびグルカゴン関連ペプチドの生物化学的研究	松本 智明	博	薬63
175	1984	バイ毒素(Neosurugatoxin)の分離及び、バイ毒化原因について	平井 孝一	博	薬64
176	1984	実験的骨粗鬆症に対するエルカトニンの作用	堀 正幸	論博	薬114
177	1984	柴胡剤の薬理学的研究	加藤 正秀	論博	薬115
178	1984	バリダマイシンAの微生物分解に関する研究	浅野 直樹	論博	薬116
179	1984	A群溶血性連鎖球菌Su株の抗腫瘍性因子の精製ならびに抗腫瘍性に関する研究	吉田 純子	論博	薬117
180	1984	アミノフィリン製剤の光安定性に関する基礎的研究	石黒 義信	論博	薬119
181	1984	γ -カルボキシグルタミン酸の高感度測定法の開発とその応用	桑田 学	論博	薬120
182	1984	回虫筋の薬理学的特異性についての研究	清水 武	論博	薬121
183	1984	工業用活性炭から薬用炭の製法と応用に関する研究	石橋 一二	論博	薬122
184	1984	ラット腹水肝癌細胞におけるReserpineによるVinblastine感受性増強作用とその機序に関する研究	涌澤 伸哉	論博	薬123

185	1984	自然発症高血圧ラットの心臓および脳におけるカテコールアミンならびにアセチルコリン受容体の薬理学的研究	林 真知子	論博	薬124
186	1984	芳香族ケトンおよびサーモクロミックエチレンのラジカルのコンホメーションに関する研究	風間 舜介	論博	薬125
187	1984	コリンエステラーゼ活性阻害作用を示す有機リン剤およびカーバメート剤の毒性薬理学的研究	奥平 洋巳	論博	薬126
188	1984	ラットにおける性ホルモンによるコレステロールエステル分解酵素の調節	岡田 忠彦	論博	薬127
189	1985	ラット免疫担当細胞の糖脂質とその合成に関する研究	木村 博久	博	薬65
190	1985	新微量定量法によるメチルグリオキサールの担がんマウス組織内変動に関する研究	松浦 寿喜	博	薬66
191	1985	VIP 前駆体のプロセシングに関する生物化学的研究	荻野 晃一	博	薬67
192	1985	β -ラクタム抗生物質のPhysiological Pharmacokinetic Modelに関する研究	西出 和憲	論博	薬128
193	1985	生薬からの天然酸化防止剤の検索および関連物質の抗酸化性の検討	戸田 静男	論博	薬129
194	1985	医薬品の毒性試験における臨床酵素化学的検査法の検討	松本 一彦	論博	薬130
195	1985	モルモット回腸コリン作動性神経に対するAdenosineの抑制作用とその生理的意義	篠塚 和正	論博	薬131
196	1985	肉蓯蓉の成分とその薬理作用に関する研究	小林 弘美	論博	薬132
197	1985	祛風湿薬に関する研究—抗炎症・鎮痛作用の検討および生理活性成分の単離、構造決定—	山本 藤輔	論博	薬133
198	1985	アロイル基を有する芳香族複素環化合物の新しいary1転位によるアリルジヒドロ芳香族複素環カルボン酸誘導体の生成に関する研究	竹元 万壽美	論博	薬134
199	1985	新抗腫瘍抗生物質Kazusamycinに関する研究—生産菌、培養、単離精製、構造決定および生物学的性質—	富坂 茂	論博	薬135
200	1985	有機硫黄化合物の研究—回転異性体の単離、固相反応及びオルトケトン体の形成について	徳野 健次	論博	薬136
201	1985	錠剤の強度およびその測定法に関する研究	長谷川 正樹	論博	薬137
202	1985	メチルチオ基含有代謝物の生成経路に関する研究	鈴木 修司	論博	薬139
203	1985	三価クロムとの相互作用によるDNAおよびクロマチンのin vitro転写活性の増大とその機構に関する研究	大場 浩	論博	薬140
204	1986	ラット体内における過酸化脂質由来アルデヒドの生成に関する研究	芳野 恭士	博	薬68
205	1986	内因性IGF-Iの性状と実験糖尿病ラットにおけるその動態	門脇 真	博	薬70
206	1986	ケイ素原子の特性を活用するアゾメチンイリド生成法の開発とその応用及び理論的研究	今井 信行	博	薬71
207	1986	食品添加物の腸内微生物交換に関する研究—サイクラミン酸塩をモデルとする変換微生物の検索—	松井 道子	論博	薬141
208	1986	抗腫瘍性多糖体、シゾフィランの作用機構に関する研究—血清中因子について	秋間 和雄	論博	薬142
209	1986	2-Naphthylmethyl Propiolate(PNE)及び類縁化合物の抗真菌性に関する基礎的研究	松井 貞良	論博	薬144
210	1987	製紙工場排水中に含まれる変異・がん原物質に関する研究	山下 みつ子	博	薬74
211	1987	卵胞ホルモンによるコレステロールエステラーゼ活性の調節	中村 一基	博	薬75
212	1987	N-ニトロソアミド型化合物 特にN-ニトロソメチルウレアの生成に関する研究	山本 都	論博	薬145
213	1987	リポドAに関連するリポドYおよびグルコサミン-4-リン酸誘導体類の合成研究	中本 信一	論博	薬146
214	1987	赤血球インスリン受容体に関する生物化学的研究	山下 啓子	論博	薬148
215	1987	縮合ピリミジン環系ライセルト化合物の合成とその化学的性質に関する研究	佐藤 進	論博	薬149
216	1987	炎症ラットにおけるVitamin Aの生理活性について	神田 佳和	論博	薬150
217	1987	癌関連糖脂質の同定とそのモノクローナル抗体の臨床化学的研究	茗荷 昭男	論博	薬151
218	1988	ブタ冠動脈のカルシウム依存性収縮のリポ蛋白質および関連物質による制御	井上 泰秀	博	薬77
219	1988	Glucagon-like peptide (GLP)-1の構造-活性相関に関する研究	鈴木 睦昭	博	薬78
220	1988	1,4-環状付加反応の開発とチオカルボニルイリドに関する研究	青野 雅博	博	薬79
221	1988	バイ(Babylonia japonica)の毒素と毒化機構に関する研究	福山 俊典	博	薬80

222	1988	漢方方剤の膀胱発癌プロモーション抑制作用及び抑制作用物質に関する研究	亀田 幸明	博	薬81
223	1988	ラット脳ニコチン性アセチルコリン受容体の結合特異性に関する基礎的研究	高柳 法康	論博	薬152
224	1988	化学物質の環境中挙動評価モデルの開発と適用に関する研究	吉田 喜久雄	論博	薬154
225	1988	微生物におけるチアミン・ピリミジン部及びチアゾール部の生合成経路に関する研究	田鶴谷 恵子	論博	薬155
226	1988	クロロフェノール類の水生生物に対する毒性と構造活性相関に関する研究	茂岡 忠義	論博	薬156
227	1989	高血圧自然発症ラットにおける血小板機能異常のメカニズム	池田 雅彦	博	薬82
228	1989	細菌細胞壁を構成する糖脂質をリード化合物とした医薬品の開発研究	清水 千賀子	博	薬84
229	1989	高効率不斉ビスホスフィン配位子設計理論に基づくピロリジンビスホスフィン-ロジウム錯体の開発と実用的不斉水素化反応への応用	高橋 寿	博	薬85
230	1989	消化管運動調律薬 Trimebutine Maleateの代謝に関する研究	三浦 勇二	論博	薬160
231	1989	腸瘍検出用放射性画像診断薬剤としての ^{99m} Tc-DL-ホモシステインに関する研究	武田 厚司	論博	薬164
232	1989	虚血性実験モデルにおけるプロスタグランジンオリゴマーの保護作用に関する研究	勝岡 正幸	論博	薬165
233	1989	高血糖ラットとその新生児豚のホルモン分泌応答に関する研究	高尾 文子	論博	薬166
234	1989	高効率C2対称型不斉ジオキソランビスホスフィン配位子類の開発と光学活性リグナン類合成への応用	千葉 三男	論博	薬167
235	1989	食用色素ならびにそれに含まれる不純物の分離と定量に関する研究	神藏 美枝子	論博	薬169